

IBU イベントのフッ素テストプロトコル

(バージョン 1.0、2023 年 10 月に IBU 理事会により承認)

対象: IBU ワールドカップ、IBU カップ、WCH、OECCH、OWG

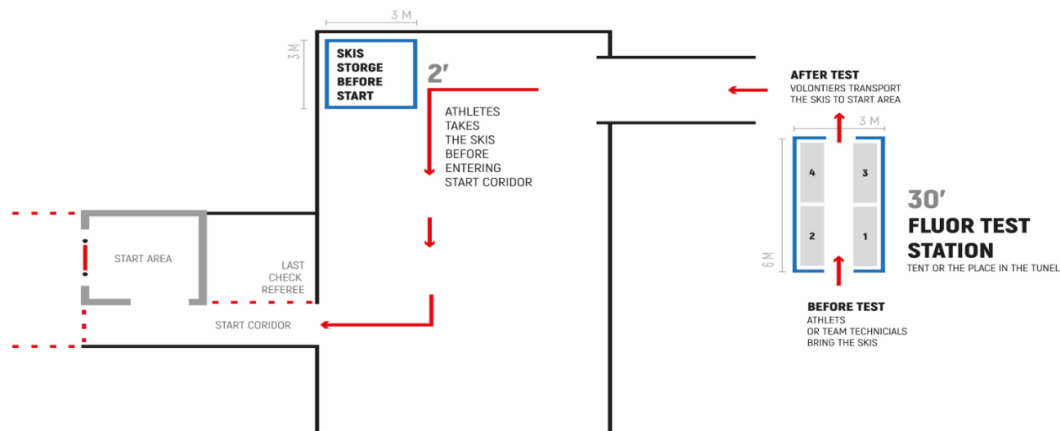
フッ素の全面禁止の実施

国際バイアスロン連合 (IBU) は、2023/2024 シーズン以降のすべてのイベントシリーズで、フルオロカーボンを含むスキー準備製品の全面禁止を実施することを決定しました。IBU WC、WCH、IBU カップ、OECCH、OWG では、すべてのスキーで禁止製品の使用をテストすることにより、フッ素の禁止が実施されます。

競技者とチームスタッフは、関連する IBU 規則 (ECR 1.5.2) に準拠した素材のみを使用して IBU イベントに参加する責任があります。

フッ素テストステーション

競技前にすべての競技用スキーをテストする必要があります (ECR 4.2.2.1.d)。このプロセスは、スタートエリアの近くにあるスキーテストステーション (テント、トンネル、ダブルコンテナ、ガレージ、またはその他の専用場所) で行われます。少なくとも 36 平方メートルの適切なスペースが必要です。



会場には 4 つの独立したステーションを設置する必要があります。各ステーションには、別のコンピュータに接続されたスライダー システム上の専用デバイス (Bruker Alpha II) が装備されています。許可された人物のみが立ち入ることができます。

このプロセスは、IBU の責任者または IBU の審判が、OC から提供され、スキー スキャンと FTIR 操作のすべての側面についてトレーニングを受けた 6 人のオペレーターと協力して調整 (主導および監督) します。

営業時間:

スキー テスト ステーションは、トレーニング日と競技日には専用の時間にオープンします。スキーのテストと製品のチェックは、各イベントごとに事前に通知される予定の時間に行うことができます。競技日には、ステーションは主にレースの前後に計画どおりにスキーをチェックするためにオープンします。

スタート 1 時間前 – スキー テスト ステーションのチェック (オペレーターとデバイスはスタート前にチェックの準備が整います)

スタート 45 分前 – スキー テスト ステーションがオープン

スタート 30 分前 – 専用スタート時間 (個々のアスリートのスタート時間) 前にスキーを配達する最終時間

スキーのマーキングと配達時間 スキーは、アスリートの個々のスタート時間の 30 分前までにコントロール ステーションに配達し (アスリートまたはチーム スタッフが)、テスト ステーションの専用スキー スタンドに置く必要があります。ECR 4.2.2 に従って、競技者とチーム スタッフは、開始前に期限内に材料検査を受ける責任があります。

スキーは、アスリートのゼッケン番号を記したステッカーを貼って配達する必要があります。

ステッカーは、レース前に別の封筒で配布されます。技術者は、ビンディングの後ろの領域に垂直に適切なステッカーをスキーに貼り付ける責任があります。

スキーの表面は、汚染リスクを減らすために、すべての面から洗浄する必要があります。

テストと結果

各ペアから少なくとも 1 つのスキーを FTIR 法でテストし、フルオロカーボンを含む許可されていない材料を排除します。スキーは、テスト手順に従って、スキーのベース上のランダムに選択された 3 か所でテストされます。

スキーがコントロールに合格した場合、スキーは、テスト ステーションの場所 (ECR 4.2.2.2) に応じて、ボランティアによってスキー ホルダーで慎重に運ばれるか、スタートエリア近くの専用スキー スタンドに直接置かれます。スキーは、各競技者のスタートの少なくとも 5 分前に「スタート」スキー スタンドに置いておく必要があります。

スキーがコントロールに不合格になった場合、スキー コントロールに割り当てられた IBU 審判が、2 つ目のデバイスを使用してスキーをもう一度テストし、結果を確認します。テストに不合格であることが確認された後、その情報は、ルールに従って適切な懲戒処分を受けるために、影響を受けるチーム メンバーと TD/RD に提供されます。スキーはスキー スタンドまたはスキー ホルダーに置かれず、マークされてチームに返却されます。各 NF の責任者は、スキーの不合格についてすぐに通知を受けられるように、ステーションの近くで待機する必要があります。チームメンバーが出席できない場合、情報は無線で TD または RD に転送され、その後、射撃場のチームコーチに転送されます。

テストの結果は最終的なものであり、抗議の対象にはなりません。スキーおよびスキー

の輸送のテストは、オペレーター、ボランティア、または OC 側による汚染が発生しないように実施する必要があります。

測定手順

- 0-1 グリーン、次のポイントに移動します(最大 3 ポイントまで)。
- 1.1-1.8 イエローですが、<1 グリーンの場合は機器を移動せずに再測定します。>1.81 レッドの場合は、グリーンはグリーンポイント、レッドはレッドポイントを意味します。
- >1.81 レッドの場合は次のポイントに進み、IBU 責任者が 2 番目の機器で再測定します。

閾値ゾーン 閾値ゾーンは、Alpha II の現在の IBU/FIS キャリブレーション モデルに基づいており、更新後に変更される可能性があります。変更に関する情報は、予定されている実装の前に正式に発表されます。

Threshold zones		
0-1	1,01-1,8	1,81 +

レース前の選手によるスキーの受け取り

スキーは、スタートゾーンに入る前に選手のみが直接スキーラックから受け取ります(チームスタッフや役員による受け渡しは不可)。保管されたスキーは、競技選手以外の人に触れたり検査したりできないようにベース側から保護する必要があります。

シングルミックスリレー

シングルミックスリレー競技では、選手は 1 組のスキーのみを使用できます。交換の合間にワックスを塗り直すことは許可されていません。

レース後のスキーテスト

ECR 4.2.3 に従って、各レース後にすべてのスキーまたは可能な限り多くのスキーが FTIR 法でテストされます。スキーは、フィニッシュエリアで IBU 役員および/または指定されたボランティアによって受け取られ、テストステーションに持ち込まれます。

「レース後のしきい値」(値 1.8 プラス「会場汚染係数」)を超える値は 2 つのデバイスでチェックされ、確認後、DSQ につながります。会場汚染係数は、以下に定義される基準スキーによって再評価される場合があります。

スキーは、各選手の個人フィニッシュから 15 分後、競技終了後 20 分以内に競技者またはチーム メンバーがテストステーションで受け取ることができます。

フッ素汚染リスク/基準スキー

競技日の前と競技中に、フッ素汚染（「会場汚染係数」）の可能性をテストするための別のスキー セットが設計されます。競技後のテストのデータは、研究目的と可能性のある決定のために収集されます。

予備スキー 予備スキーは、レース前にテストする必要はありません。使用される場合は、競技後にチェックされます。

カードシステム

- 1 枚目のレッドカード: スキー板の交換が可能 – 各選手 1 回のみ/2023/2024 シーズンに 1 回のみ
- 2 枚目のレッドカード: ECR 11.2.b に従ってスタート禁止
- 1 枚目のイエローカード: 選手とチームに対する公式警告
- 2 枚目のイエローカード: レッドカード
- カードシステムは選手名に割り当てられます
- 選手がレッドカード (直接または 2 枚のイエロー) を受け取ると、1 か所以上が「イエロー」とテストされた次のスキー板は、ECR 11.2.b に従ってスタート禁止となります

Card System for Athlete					
Measurement result in 3 points			Reaction	Decision	Option
			OK	OK	
			OK	OK	
			Yellow card	Warning	
			Yellow Card	Warning	
			Failed	DSQ/Start proh.	Ski change
			Failed	DSQ/Start proh.	Ski change
			Failed	DSQ/Start proh.	Ski change
			Failed	DSQ/Start proh.	Ski change

チーム制裁

選手が ECR の付録 A 条項 1.3 (赤スキー) に複数回違反した NF は、ECR 11.5.4 および 11.6 に従って、罰金が科せられたり、1 回以上の IBU 大会への出場停止処分を受ける場合があります。

注: このプロトコルは変更される可能性があり、シーズン中の経験と進展に基づいて、IBU 大会の公平性を確保するために必要と思われる修正を常に行うよう見直されます。修正があった場合、そのような情報は関係するすべての利害関係者と積極的に共有されます。